

2022年4月8日

各位

瀬戸内国際芸術祭にパークレットを現物協賛 余韻に浸るための「Heart Memory Spot」を高松港に設置

四国化成工業(株)〔本社：香川県丸亀市、代表取締役社長 兼 C.E.O.：田中直人〕は、瀬戸内国際芸術祭の期間中、高松港に瀬戸内海の多島美を眺めつつ、島々の余韻に浸る場所として「パークレット」を現物協賛いたします。

現在、新しい都市づくりにおいて都市の魅力の向上を図る取り組みとして、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり（ウォーカブルなまちなかの形成）が国土交通省を中心に進められています。このウォーカブルなまちなかの形成への一つの取り組みとして、パークレットが全国で注目されています。パークレットとは、道路上の余剰空間で歩行者が気軽に休憩・食事などが出来る憩いの場所を形成する仮設物で、新たな憩いや賑わいの創出への活用を目指しています。当社は新たな事業としてパークレット事業に取り組んでおり、これまでに培ったエクステリア商品の強みであるデザイン性と安全性を生かしたパークレットの開発を進めております。瀬戸内国際芸術祭では、高松港のフェリーターミナルに設置される「高松港 食のテラス」付近に、誰でもご利用可能な休憩場所としてパークレットを現物協賛しています。

高松港に設置されたパークレットは「Heart Memory Spot」と銘打ち、瀬戸内国際芸術祭での体験を心に刻み、日常に戻る前の一瞬を憩うことができる場所として設計しています。座席は全て海に向かって設置しており、海を眺めながらの会話や飲食ができます。また、開閉可能なシェードが昼間の強い日差しを穏やかに遮り、夜には植栽に彩られた空間のライトアップを行う予定です。

パークレットから眺める島々と瀬戸内海が織りなす“多島美”は時間によって刻々と姿を変えていき、船から発せられる重低音の汽笛を聞き、潮風を感じつつ、旅の余韻に浸れる場所となっております。多くの方にご利用いただき、瀬戸内国際芸術祭の盛り上げに貢献したいと考えております。

当社は2030年にありたい姿を示した長期ビジョン「Challenge 1000」を掲げ、その基本方針をお客様、従業員、株主に社会を加えた「四方よし」の実現としています。これからも社会と共に生きる企業として、当社の事業活動が地域社会の発展に貢献できますよう尽力してまいります。

以上

[パークレットのご紹介]

<https://shikoku-parklet.nurumori.com>

参考資料

① パークレット設置イメージ（高松港 食のテラス付近）



② 高松港パークレットコンセプトポスター

瀬戸内国際芸術祭2022
Setouchi Triennale 2022

高松港 食のテラス

瀬戸内の余韻と憩う

Heart Memory Spot

四国化成工業株式会社は瀬戸内国際芸術祭 2022 を応援しています。

島々と瀬戸内海が織りなす“多島美”
島を巡り、まるで外国にきたかのような
アート、風土に根付く暮らしの風景、
ここは、そんな瀬戸内の体験を、
心にきざみ、つなげる場。

思い出のアンケート

ご賞味ください

瀬戸内を離れる前に、
内海の玄関であるこの高松港で、
潮風を感じ、
目前に広がる海と島々を見つめながら、
思い出に浸りませんか？

四国化成 パークレット